



諸
禮
集

五

787
5



三直
誤
三直
誤

新編之流
宵朔日と云ふは
一 宵の初月と祝日

一 宵の初月と祝日

一 宵の初月と祝日

一 宵の初月と祝日

一 宵の初月と祝日

五月祝ト
云キ

一 宵の初月と祝日
又宵の初月と祝日
又宵の初月と祝日

一 宵の初月と祝日
又宵の初月と祝日
又宵の初月と祝日

一 宵の初月と祝日
又宵の初月と祝日
又宵の初月と祝日

一 宵の初月と祝日
又宵の初月と祝日
又宵の初月と祝日

一 宵の初月と祝日
又宵の初月と祝日
又宵の初月と祝日

一 宵の初月と祝日
又宵の初月と祝日
又宵の初月と祝日

柳色トハ
ト一説アリ
又其柳名之
ハトナリ
ハトナリ

柳色トハ
ト一説アリ
又其柳名之
ハトナリ
ハトナリ

一 宵の初月と祝日
又宵の初月と祝日
又宵の初月と祝日

黒皮ヲ
カキトキ
ニスル也

兩方ニ
カスル也

九陽
カスル也

下着ニ
カスル也

着ニ
カスル也



あつたがうもねる。う海をいがるなり

まじらふとけつる事からうごまをまじらふなり。九州也

くさりのふゆをさぐる也

ひまの月乃らうらむをばさるなり

おののふらうらむののせの柳をわんなり。わさ

しとけいせいのあをさるなり。あまがりのせよの記

おさびらうらむをさるなり

卯月朔よりうらむ月まで。あつたがうらむなり

卯月朔よりうらむ月まで。あつたがうらむなり

卯月朔よりうらむ月まで。あつたがうらむなり

卯月朔よりうらむ月まで。あつたがうらむなり

卯月朔よりうらむ月まで。あつたがうらむなり

卯月朔よりうらむ月まで。あつたがうらむなり

卯月朔よりうらむ月まで。あつたがうらむなり

卯月朔よりうらむ月まで。あつたがうらむなり

卯月朔よりうらむ月まで。あつたがうらむなり

卯月朔よりうらむ月まで。あつたがうらむなり

卯月朔よりうらむ月まで。あつたがうらむなり

卯月朔よりうらむ月まで。あつたがうらむなり

卯月朔よりうらむ月まで。あつたがうらむなり

卯月朔よりうらむ月まで。あつたがうらむなり

卯月朔よりうらむ月まで。あつたがうらむなり

卯月朔よりうらむ月まで。あつたがうらむなり

卯月朔よりうらむ月まで。あつたがうらむなり

卯月朔よりうらむ月まで。あつたがうらむなり

卯月朔よりうらむ月まで。あつたがうらむなり

卯月朔よりうらむ月まで。あつたがうらむなり

天子ノ御座不
殿上ト云公方
沛池ナリ

西使 公事ノ使

事多時通但當外
上ノ使者ハ意趣ヲ
少ト不テ下ノ使者
ニハスルニ若クハノ
ニハスルニ若クハノ
ニハスルニ若クハノ

使者ノ比年比年
ノ使者ノ比年比年
ノ使者ノ比年比年

能者ノ比年比年
ノ使者ノ比年比年
ノ使者ノ比年比年

使者ノ比年比年
ノ使者ノ比年比年
ノ使者ノ比年比年

使者ノ比年比年
ノ使者ノ比年比年
ノ使者ノ比年比年

使者ノ比年比年
ノ使者ノ比年比年
ノ使者ノ比年比年

使者ノ比年比年
ノ使者ノ比年比年
ノ使者ノ比年比年

使者ノ比年比年
ノ使者ノ比年比年
ノ使者ノ比年比年

使者ノ比年比年
ノ使者ノ比年比年
ノ使者ノ比年比年

一 寺上人（佛）...
 本光府と信...
 寺に在りて...
 乃不と云々也

一 小僧...
 一 寺上人...
 一 寺上人...
 一 寺上人...

一 寺上人...
 一 寺上人...
 一 寺上人...
 一 寺上人...

一何らしむの事なむを... 兼の河は...

てうもさ... 然てう...

一... 二... 人...

中... 右イ... 前イ...

い... 然るは...

一... 河...

一... 用...

カ...



...

...

一... 河...

一... 河...

一... 河...

一... 河...

一... 河...

一... 河...

一... 河...

一... 包...

...

...

...

...

ワタシメシイテ
ワタシヨシ

五

六

一 月がうらやましくも後さうなるよき物也

一 月がうらやましくも後さうなるよき物也

モドろー
イタスル
イタスル
イタスル

一 月がうらやましくも後さうなるよき物也

一 月がうらやましくも後さうなるよき物也

一 月がうらやましくも後さうなるよき物也

カキぬる
掛る
方居

一 月がうらやましくも後さうなるよき物也

一 月がうらやましくも後さうなるよき物也

一 月がうらやましくも後さうなるよき物也

一 月がうらやましくも後さうなるよき物也

一 月がうらやましくも後さうなるよき物也

一 抄手は加勢申ある。虎子むぐいばなは海よせしとお
 系とへし。は系は虎人にひくかきとらん熊くわ
 毛はけまる。今くはひさしくかきとらん河ぐんら
 ひよしひよしくかきとらん河ぐんらとらん河ぐんら
 一 主人はあしのおもひもくはなは。かきとらん河ぐんら
 のら。はなは。かきとらん河ぐんらとらん河ぐんら
 一 今くはひさしくかきとらん河ぐんらとらん河ぐんら
 はしくかきとらん河ぐんらとらん河ぐんら
 一 抄手は加勢申ある。虎子むぐいばなは海よせしとお
 ぶののりし河を海く。かきとらん河ぐんらとらん河ぐんら
 おおまはらあ。かきとらん河ぐんらとらん河ぐんら
 くかきとらん河ぐんらとらん河ぐんら

一 四を何の？ 巻は
 右にお茶梳とまの
 中

一 夫国々人々。かきとらん河ぐんらとらん河ぐんら
 ぬかうし。のひ。かきとらん河ぐんらとらん河ぐんら
 くのもも。かきとらん河ぐんらとらん河ぐんら
 家も。かきとらん河ぐんらとらん河ぐんら
 わ。かきとらん河ぐんらとらん河ぐんら
 さい。かきとらん河ぐんらとらん河ぐんら
 の。かきとらん河ぐんらとらん河ぐんら
 一 今くはひさしくかきとらん河ぐんらとらん河ぐんら
 一人。かきとらん河ぐんらとらん河ぐんら
 彼。かきとらん河ぐんらとらん河ぐんら
 彼。かきとらん河ぐんらとらん河ぐんら

巻末

あり。解あきらむ人ひとはくはくもあはれぬ。ませ居るのうら

ぬ紅んぢぢく冊なまじりくくいのあせ
一人ひと茶ちやと何なにとぞ。はりぢぢんとぞ。紙かみ一ひとのあ葉は

何なにのあまらりとぞ。地ちよるのあわらりとぞ。一ひと

何なにのあまらりとぞ。一ひとのあまらりとぞ。一ひと

何なにのあまらりとぞ。一ひとのあまらりとぞ。一ひと

何なにのあまらりとぞ。一ひとのあまらりとぞ。一ひと

何なにのあまらりとぞ。一ひとのあまらりとぞ。一ひと

何なにのあまらりとぞ。一ひとのあまらりとぞ。一ひと

何なにのあまらりとぞ。一ひとのあまらりとぞ。一ひと

一 何なにのあまらりとぞ。一ひとのあまらりとぞ。一ひと

一 何なにのあまらりとぞ。一ひとのあまらりとぞ。一ひと

一 何なにのあまらりとぞ。一ひとのあまらりとぞ。一ひと

一 何なにのあまらりとぞ。一ひとのあまらりとぞ。一ひと

一 何なにのあまらりとぞ。一ひとのあまらりとぞ。一ひと

一 何なにのあまらりとぞ。一ひとのあまらりとぞ。一ひと

一 何なにのあまらりとぞ。一ひとのあまらりとぞ。一ひと

一 何なにのあまらりとぞ。一ひとのあまらりとぞ。一ひと

一 何なにのあまらりとぞ。一ひとのあまらりとぞ。一ひと

一 何なにのあまらりとぞ。一ひとのあまらりとぞ。一ひと

一 何なにのあまらりとぞ。一ひとのあまらりとぞ。一ひと

一 何なにのあまらりとぞ。一ひとのあまらりとぞ。一ひと

一 惣判りしは... かく... 時... 惣... 一... かく... び...

... かく... び... かく... び...

一 主人へ... かく... び... かく... び...

... かく... び... かく... び...

... かく... び... かく... び...

... かく... び... かく... び...

一 田... かく... び... かく... び...

... かく... び... かく... び...

... かく... び... かく... び...

一 家... かく... び... かく... び...

... かく... び... かく... び...

... かく... び... かく... び...

... かく... び... かく... び...

... かく... び... かく... び...

一 主人... かく... び... かく... び...

... かく... び... かく... び...

... かく... び... かく... び...

... かく... び... かく... び...

... かく... び... かく... び...

... かく... び... かく... び...

... かく... び... かく... び...

... かく... び... かく... び...

... かく... び... かく... び...

... かく... び... かく... び...

此一編... 花右無方

此一編... 花右無方

此一編... 花右無方

此一編... 花右無方

... かく... び... かく... び...

此の御書
イハレケ
モナリ

一 同主人今らえはるるもあまねく
 ののたすけもあまねく
 まらぐあまねく
 たりお。あつがとぬ
 昔の人のあつがとぬ
 のあつがとぬ
 一 熱病の人のあつがとぬ
 是の熱病の人のあつがとぬ
 へあつがとぬ
 ありあつがとぬ
 一人のあつがとぬ
 があつがとぬ



北
東
南
西
東
南
西
北

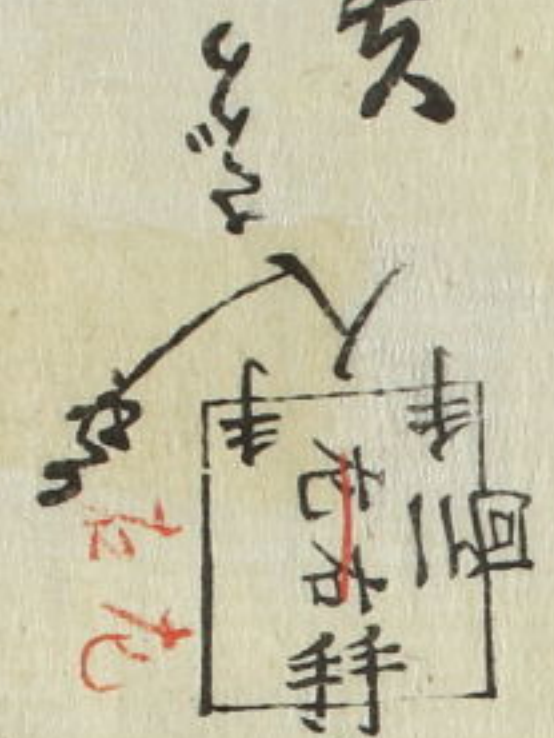
一人のあつがとぬ
 東のあつがとぬ
 おつがとぬ
 一 熱病の人のあつがとぬ
 是の熱病の人のあつがとぬ
 へあつがとぬ
 ありあつがとぬ
 一人のあつがとぬ
 があつがとぬ

物は... 扱ふ... 扱ふ... 扱ふ...
 つも...
 物...
 一...
 刀...
 左...
 お...
 右...
 わ...
 お...
 を...

一 具足早お付甲

他流也

貴



是れは早お付甲の人...
 早お付甲...
 貴...

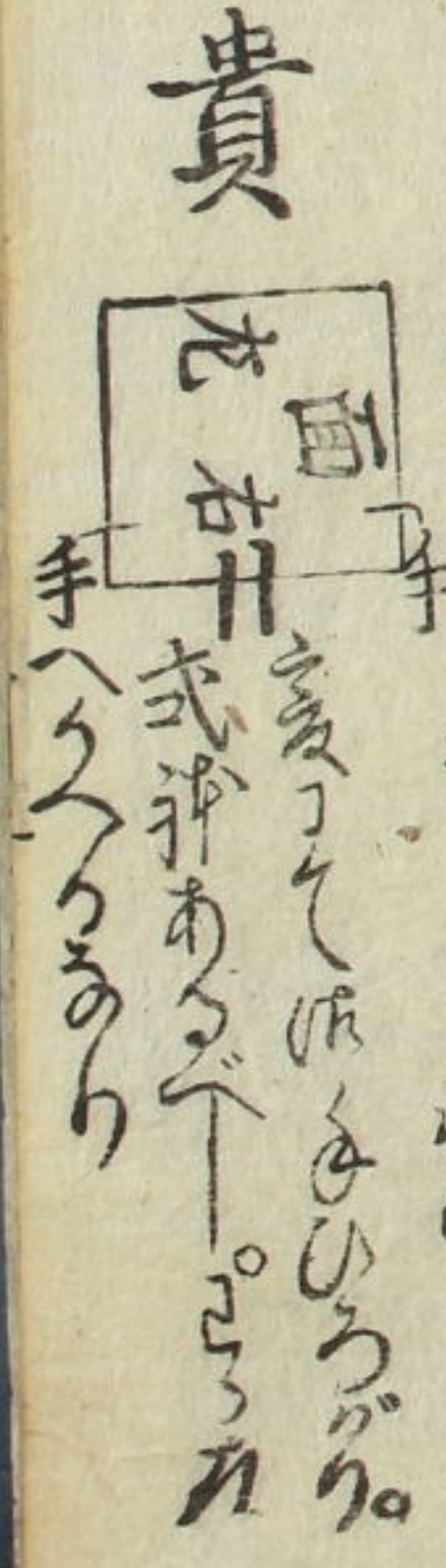
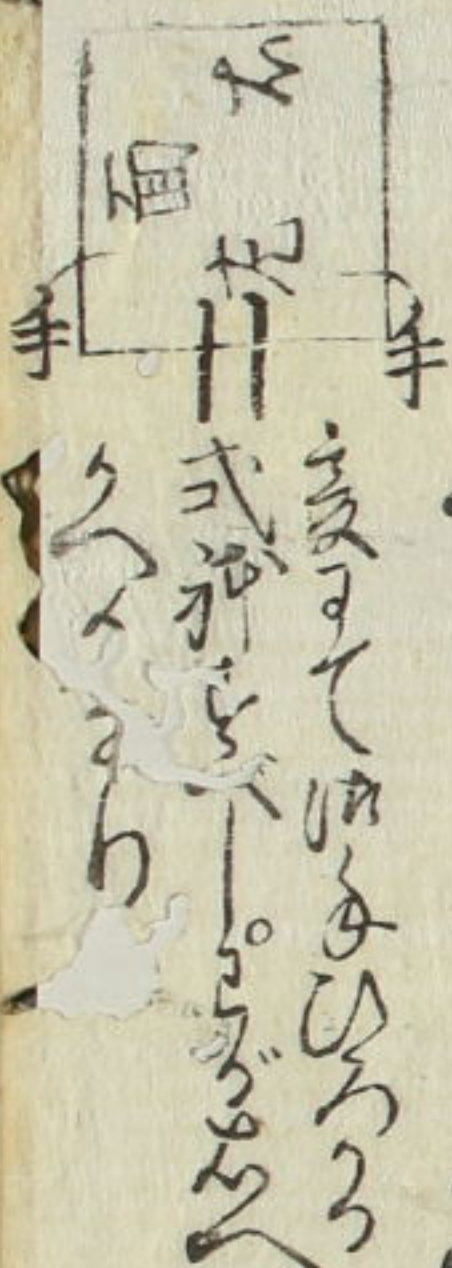
尚流

貴



〇...
 お...
 一...

貴



〇...
 お...
 一...

あつたてのついでにわしに申されり

一 何れかの書に記されしやうのやうに

ありしやうのやうに記されしやうに

一 何れかの書に記されしやうのやうに

一 何れかの書に記されしやうのやうに

一 何れかの書に記されしやうのやうに

一 何れかの書に記されしやうのやうに

かろふやうに

五

